

おしどりミニだより



OMI CHIROBAKAI

近江ちいるば会
デイケアの家おしどり
地域密着型デイサービス

2018年11月
湖南省サイドタウン3丁目16-72
電話 0748-74-0005

皆さんとハンドベルに挑戦しています。はじめは難しいと感じている方もいらっしゃいましたが何度かの練習で自分のパートをうまく奏でることが出来ると、やる気が笑顔に変わります。作品展で披露できるといいなあと、楽しく夢を持ち頑張っています。

予告：作品展 11月19日から23日までおしどりで開催いたします。ご家族そろってお越しください。

喜怒哀楽のある暮らし

「笑う門に福来る」という言葉はおしどりでたびたび出てくる言葉です。みんなで大笑いした後は必ず誰かがこの言葉を言われます。

最近おしどりを利用して下さることになったAさんが、なぜおしどりに来ようと思ったのか、見学に来られた時の第一印象を話して下さいました。

その内容は…

「ここに来たいと思ったのは皆さんが笑顔だったこと」、「自分に、にっこりわらってくれる人がいたから」と表現して下さいました。またある日、100歳まで生きるにはどうしたらよいかを皆さんと考え話し合いをしたことがあります。「こうしておしどりに来て皆さんと会って話をしていることだと私は思っています」「いやいや栄養のあるもの食べて病気にならん事やろう」「おしどりのご飯をたべていたら元気になる」など、それぞれの考えを述べて下さいました。結論は「家に閉じこもらず出かけ、人と話をして笑って、体を動かして、ご飯をしっかりと食べることに尽きるなあ」

ということになり、「笑うと元気になることはおしどりに来ている私たちが証明している」と言ってくれます。しかし、皆さん“人”です、体調が悪かったり、イライラしていたり、悲しいことなどがあったときには、楽しい会話もうるさいと感じる時もあります。人間ですから当然です。そんな時にはその方の心情を想像し理解して、ゆっくり話を聞いたり、時にはドライブに出かけたり気持ちをリフレッシュする等の対応を試みます。集団生活だから、施設のやり方に合わせたり、人に合わせないといけなかったりするのではないと思います。



皆さんの最高の笑顔



ある日の昼食：ジャガイモ饅頭とサラダ

ひとり一人が自分らしい生活の出来る場をどのように共有すればいいのか。人間特有の感情である怒りや哀しみという心が、喜びや楽しみの心と同じように表すことが出来る。このことがその方らしく生活出来る場所であると思います。「笑うと元気になることはおしどりに来ている私たちが証明している」との言葉に胸が熱くなりました。

お料理

料理の下ごしらえのお手伝い。
畑の大根の間引き菜の漬物作り、巻きずし作り等大活躍して下さっています。



畑仕事

畑の名人に野菜の植え方を教えていただいています。「大きくなれよ・・・と愛情をこめて



玉ねぎ植え

様々な生活リハビリ

コスモス見学
近江八幡のコスモスは今年も大変きれいでした。きれいなコスモスを見て皆さんのテンションが最高潮になりました。



生活リハビリは自立・自律支援を目的としています。デイサービスで、今出来ることを見つけて経験し、自宅に帰っても同じようにできることが自立・自律支援だと考え日々取り組んでいます。おしどりではこの生活リハビリに夢や希望を見出し「生きる」力を持っていただきたいと云う目標を持っています。

干し柿作り

渋柿は毎年皮をむいて干しています。今年も皆さんにお手伝いいただきたくさんの干し柿が軒下に並びました。



台ふきんづくり

今年も皆さんが心を込めて縫われた台ふきんを地域の施設に届けようと計画しています。

